

石川県デジタル化推進モデル創出事業オンラインセミナー ～製造現場におけるAI・IoTの活用について～

講演1：生産現場からDX革命！

老朽化工場を安価に、速く、小さく成功、
収益アップ

第一工業製薬株式会社

生産本部 生産管理部 生産技術グループ長 安田 正史 氏

講演2：スマートファクトリーに向けた自社 事例のご紹介とAI・IoTソリューションの新 しい取組みのご紹介

株式会社別川製作所

企画開発室長

高筒 正義 氏

日時：2021年9月29日(水) 13:30～15:30

開催方法：Zoomによるオンラインセミナー

定員：先着250名 参加費：無料

主催：(一社)石川県情報システム工業会

共催：石川県ものづくり産業等IoT化推進研究会

協力：株式会社別川製作所

※参加申込は、下記にご記入の上、メール又はFAXにてお送りください。
(お申込締切/9月27日(月))

会社名	役職	氏名	電話番号	E-mail	所属団体

申込
・
問合せ先

一般社団法人 石川県情報システム工業会

TEL：076-267-4741 FAX：076-267-4499

MAIL：jimukyoku@isa.or.jp

講演1：生産現場からDX革命！

老朽化工場を安価に、速く、小さく成功、収益アップ

講演概要

第一工業製薬は、生産現場のDXによる社員の行動、意識変革を進めています。はじめに、生産現場の共通言語として「スマート化マップ」を制定し、過去の踏襲であるマンネリ感を打破した施策を展開しています。具体的には本社主導の「生産工程の改善」、現場主導の「生産効率の改善」の2種類のKAIZENを実行して、生産リードタイム短縮による収益力アップを実現しています。また、音響や振動等のセンシングによる「予防保全」に取り組んでいます。並行して、生産現場でDX技術を積極的に活用できるように、社員全員をデジタルなプラットフォームにのせるべく、「DX研修」による人財育成を進めています。本講演では、当社の生産現場のDX実現にむけたコンセプトや仕組みを中心に紹介致します。

第一工業製薬株式会社

「工業用薬剤の首位」と紹介される、化学素材メーカー。1909（明治42）年に京都市で創業、当時の基幹産業である絹糸製造用の工業用薬剤の製造を始める。現在は、界面活性剤をはじめとする各種工業用薬剤や、健康食品などのライフサイエンス関連製品の製造・販売を行う。国内5拠点、4工場のほか、アジア、欧州など世界に展開。

講演2：スマートファクトリーに向けた自社事例のご紹介とAI・IoTソリューションの新しい取組みのご紹介

講演概要

別川製作所は、自社工場のスマートファクトリーに向けたプロジェクトを進めています。その中で自社画像認識技術を活用した配線加工機や自社のクラウドサービス（e'Meister）を活用した施設の監視制御などの事例をご紹介します。また、新しいAI・IoTソリューションの企画開発を行うために2017年に営業企画開発室を発足し、現在、企画開発室として大学との共同研究から自社での検証及びお客様のフィールドでの検証などを進めています。今回は、新たに取り組んでいます「音による予兆検知」・「人とモノのコミュニケーション」などの検証事例をご紹介します。

オンラインセミナー受講にあたって

- オンラインセミナーはZoomで受講頂きます。（MS Edge等のWEBブラウザからの参加も可能です。）
- セミナー受講用URLは、お申込み頂きましたメールアドレスに、事務局（石川県情報システム工業会）から9月28日までにお送りします。
- 講演内容は別途、アーカイブ形式で一定期間、所定の方法で配信する予定です。（配信方法は別途ご案内します）